

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和2年7月13日

施設名	香北青少年の家	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	---------	-----	------------

1 施設の概要

指定管理者名	(株)香北ふるさとみらい	指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日
施設所在地	香美市香北町吉野1300		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><令和元年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日帰りだよ！親子忍者大会体験 ・プチ!!親子避難生活体験 ・子どもフェスティバル(忍者大会、未来の麵職人) ・日帰りだよ！ちびっ子忍ジャー ・青年リーダー研修 ・日帰りだよ！集まれ!!未来の麵職人 		
施設内容	<p>青少年教育施設として、「自然とのふれあい体験、共同生活体験及び体験的な学習活動などを通じて心身ともに健全な青少年の育成を図る」という設置目的に基づき運営している。</p> <p>構造:本館 鉄筋コンクリート2階 延べ1,002.65㎡ 別館 鉄筋コンクリート平屋 延べ295㎡ 研修棟 鉄筋平屋 延べ300.16㎡</p> <p>施設概要:</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修室 3室(定員20名,80名,120名) 宿泊室 定員127名 浴室3室 野外炊飯場 3箇所 定員300名 ランニングコース 1コース 1.7km オリエンテーリングコース 1コース 10km ウォークラリーコース 2コース 5km 		
職員体制	職員:所長1名 会計総務部長1名 会計総務部1名 指導主任1名 指導員2名 調理主任1名 調理員3名 警備宿直3名 合計:13名		

2 収支の状況

(単位:円)

		H30年度(決算)	R01年度(決算)	R02年度(予算)
収入	県支出金	39,164,000	39,971,000	41,176,000
	事業費収入	757,639	660,139	812,000
	収入計	39,921,639	40,631,139	41,988,000
支出	事業費	1,194,038	1,093,903	1,913,000
	管理運営費	12,647,973	13,588,690	12,412,000
	人件費	23,122,489	22,589,571	23,847,000
	消費税	2,957,139	3,358,975	3,816,000
	支出計	39,921,639	40,631,139	41,988,000
使用料収入		1,978,690	1,612,203	2,158,000

3 利用実績

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平均
利用者数	14,931	16,469	15,129	15,478	12,681	14,938
利用団体数	165	175	162	166	132	160
宿泊者数	6,672	7,481	6,589	6,570	5,431	6,549
宿泊稼働率	23.0%	24.3%	22.9%	24.9%	23.2%	23.7%

4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響を受ける年度の利用者数の状況や事業内容の見直し等に課題はあるが、良く取り組んでいる。 ・これまで伝統的に継続してきた事業だけでなく、新たに事業を考案する姿勢が評価できる。 ・プログラムの中に、「信頼関係を築いていくため」「ふりかえりの中で”気づき”体験を重ねる」等とあり、特色ある取組がなされている。既存のプログラムに新たなオプションを組み込み、プログラム全体をバージョンアップすることは評価できる。 ・「日帰りだよ！親子忍者大会体験」では、新しいプログラムとして地元直販店と連携した「今日のオリジナルカレーづくり」、探したり発見する体験「みーつけた（今を撮る！）」などを組み込み、リピーターの多い事業に更なる工夫をしている点が素晴らしい。 ・長年取り組まれている「忍者大会」や親子のコミュニケーションを図り絆を深める「日帰りだよ！親子忍者大会体験」はマンネリ化しないよう魅力ある行事として定着している。 ・「プチ！！親子避難生活体験」は有意義な取組であるが、参加者が増えるよう引き続き努力してほしい。 ・主催事業でボランティアをお願いしている青年リーダーは、子どもとのかかわりだけでなく、保護者とのかかわり方の体験もできる。良い取組であり、ボランティアの稼働人数が増えることを期待する。 ・PR、一度訪れた人へのフォローアップ、学校との連携、地域社会との連携も継続的に取り組んでいる。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいを持つ児童・生徒に対応するために研修に参加し研さんを積む取組が評価できる。 ・食事に関しては、地元の直販店や量販店から野菜を仕入れたり、香美市産の米を使用するなど、生産者の顔が見える安心できる食材を取り入れている。 ・利用者ニーズを把握するために、アンケートを実施したり、利用校との積極的な対話に心がけている。 ・利用者の希望に応じて休館日でも開館し、利用者サービスに取り組んでいる。 ・適正な人員配置、職員同士の打ち合わせ、情報の共有も十分行っているようであるが、職員への負担が大きくなり過ぎないようにお願いしたい。 ・新型コロナウイルス感染症予防についてもマニュアルを作成して取り組んでいる。また、食堂にアクリル板を設置し、受け入れ数を半分にするなど、迅速な対応ができています。 ・今後も教員との連携プレーに注力してほしい。

③施設の運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムを運営する上での安全管理は、適切である。 ・体験学習の中で、仲間と協力し合って食事をつくることは大変重要な活動であり、天候に左右されずに実施できる炊さん棟の設置を望む。 また、雨天時でも炊事場に移動できるようにするための施設整備は、安全という側面からも必須である。しかし、改修工事費が高額であるため施設の運営費用からの捻出には無理がある。県と連携したかたちでの設置が必要であると要望する。 ・本館2階大浴場脱衣室床・洗面所2カ所床等の張替、食堂の経年劣化したテーブルの取替え、壁紙の張替、屋外ポール灯の取替えを行い、安全に気持ちよく利用できるよう配慮している。 ・利用者への手洗い指導の徹底や、玄関と食堂前への消毒用アルコールの設置により感染症対策に努めている。 ・アレルギーのある利用者が年々増加傾向にあるので、引き続き確認表の提出・打合せなどを綿密に行ってほしい。 ・食の安全度の向上とスタッフの意識づけのための研修会を定期的に行うこと。
④利用実績	<p>新型コロナウイルスの影響による参加者人数減や事業そのものを見直す必要があり、事業を再構築を検討する必要がある。</p>
⑤収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者減少に伴う収入減による収支バランスに気をつけること。 ・雨天時にカレー作りができないため、以前から炊さん棟の改修要望がある。県には予算の再検討をお願いしたい。
総合評価	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-right: 10px;">A</div> <div> <ul style="list-style-type: none"> ・熱心な姿勢で良く取り組んでいる。 ・新型コロナウイルス対応についても独自にマニュアルを作成するなど、迅速に対応している。 ・人気のある行事も常に進化させ続け、さらに魅力ある行事にするよう努めている。 ・利用者へのきめの細かい対応により、アンケートでも高い評価を得ている。 ・青少年教育施設として、仕様書に定める内容や目標を十分に達成している。 </div> </div>

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。

また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。